

# 令和6年度 第1回 浜田市環境清掃対策審議会

【日 時】令和6年7月5日（金）10時00分～11時20分

【会 場】浜田市役所 東分庁舎 2階 東会議室

※ 出席状況：委員出席8名、欠席委員2名、事務局出席5名、傍聴者なし

1 市民生活部長あいさつ

2 委嘱状の交付

3 自己紹介

4 役員改選

会 長 宮本 美保子

副会長 豊田 知世

5 審議事項

(1) 不燃ごみ処理場における搬入許可申請書の導入について

別紙1

□質疑応答

[委 員] 先日、不燃ごみ処理場で火事があった。ごみの適切な排出は排出者の責任の下で行われるべき。責任の所在を確認するためにも導入には賛成する。

[委 員] 手間が増えると説明があったが、手間とはどのような事を指すか。

[事務局] 搬入時に記入していただくことが増えてしまうということ。

[委 員] 申請書は前もって書くのか、現地で書くのか。

[事務局] 導入開始にあたってホームページに掲載することを考えている。各自で印刷していただければ事前に記入することも可能である。

審議事項 承認

6 報告事項

(1) 令和5年度のごみ排出量等について

別紙2

[委 員] 古紙はリサイクルになっていないと聞いたが、そうなのか。

[事務局] 皆さんが出された古紙は収集後、製紙会社に出荷しリサイクルしている。

【補足】

ゆめタウンに民間企業が設置している古紙回収ステーションの回収量の聞き取りを行った。この回収量を加味するとリサイクル率が21.4%になり、目標を達成する。民間が設置しているもの全ては把握できないが、ゆめタウンの回収量は今後加味した数値で報告したい。

- [委員] これらの数値が改善されてきていることは、やりすぎぐらいに市民の方々に向けて広報した方が良い。知ってもらうことが大切。
- [委員] 一人あたり 44g というのは分かりづらい。卵 1 個分などのように分かりやすく伝えることも必要。
- [委員] 私の家ではペットボトルは買い取ってもらえるため出雲で出している。また、生ごみについてはコンポストを利用しており、全く出すことはない。各家庭に合ったごみの減量化に努めていくべき。
- [委員] J A が缶のプルタブやペットボトルのキャップを集めているが、令和 6 年 9 月末で終了する。これまで集めていた方々が出すところに困るという声も聞いている。

(2) リサイクルステーションの回収量について

別紙 3

- [委員] 総合福祉センターにはペットボトルのキャップ専用のボックスがあるが市が設置しているのか。
- [事務局] 市はペットボトル、缶、びんしか設置していない。現場を確認してみる。
- [委員] 本庁以外のステーションも利用しやすくなるのか。
- [事務局] 支所の設置場所についても利用しやすくなるように検討している。また、まちづくりセンターへの設置も検討しており、試験的に大きいセンターから実施していきたいと考えている。
- [委員] 弥栄にもリサイクルステーションがあることを知らなかった。
- [事務局] 屋内にある支所もあり、分かりにくくなっている。利用しやすい形に変更していきたいと考えている。

(3) HAMADA ごみ分別アプリ登録者数について

別紙 4

- [委員] 前回の審議会でもまちづくりセンターでの周知活動を行ってはどうかという意見もあったが、その後何か周知されたか。
- [事務局] 政策企画課がデジタル化に伴うスマホなどの教室を開催しており、その中の材料としてアプリを案内している。
- [委員] 登録されている方の年齢層はわかるか。
- [事務局] 登録の際に年齢を入力していただくことにしていないため把握はできない。
- [委員] 使うのはやはり若い人になる。高齢者は紙資料で確認している。転入者にアプリを案内するのが良いと思う。

□全体を通しての質疑

- [委員] 不法投棄の件数が県内で浜田市が一番多いと聞いたことがある。
- [事務局] パトロール等を実施すれば件数が多くなる。最近は何かが増えているというわけではない。

7 その他

- ・プラ容器包装品質検査結果
- ・ボランティア袋のバイオマス化
- ・第 2 回は視察研修を予定